

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 茨城県

農業委員会名： 鹿嶋市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年8月27日

任期満了年月日 令和6年8月26日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	12	12	12

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	801
農業経営体数	426

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	573
女性	235
40代以下	

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	115
基本構想水準到達者	8
認定新規就農者	6
農業参入法人	
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,100	960	960			2,060

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	2,060	ha	470	ha	22.8	%
課題	農作物価格の低下や高齢化等による農業従事者の減少, それに伴い遊休農地の増加が見受けられる。優良農地の維持・確保を図るために, 利用権設定のメリットや制度等の周知が必要である。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12	年度	集積率	66	%
今年度の新規集積面積	90	ha	農地面積(C)	2,060	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	560	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	27.2	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち黄区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	44	ha	22 ha
課題	水田に関しては、高齢化に加えて、水稻価格の低下による離農が増え、その結果遊休農地も増加している。畑に関しては、形状や排水等栽培条件の悪い圃場で遊休農地が増加傾向にある。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	22	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	4	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	22	ha
--------------------------	----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	工程表様式が示されてから作成する。
-------------------------	-------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	前年度発生なし	ha
---------------------------	---------	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	1 経営体 0.05 ha	0 経営体 0 ha	0 経営体 0 ha
課題	・親元への就農者と比較して、独立自営農者が少ない。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	59 ha	65 ha	80 ha	68 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	6.8 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14 人
		農地利用最適化推進委員の人数	12 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月	③新規参入の促進	新規就農者の見廻り、相談活動強化
10月	②遊休農地の解消	農地パトロールによる遊休農地の現状確認、発生防止・解消等
12月	①農地の集積	農地所有者等の意向把握活動強化

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	平成34年6月23日	相談会名	レンコン栽培に関する研修会
参加者数	30人程度	開催場所	鹿嶋市農業公社 会議室
相談会の内容	市内で増加する、レンコン栽培に取り組む、または興味を示す若手農家に対応するため、講師による講演を受けて農業委員、農地利用最適化推進委員のレンコン栽培に関する理解を深めること、また若手農家との意見交換を通じて、担い手の確保、農地集積を進める。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)